

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名

鉢塚緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名

梶田 良治



### 記

事業の名称	安全パトロール実施事業 電動自転車の配備
事業実施前の状況	通学時は、地域の有志の方が見守っていた。
事業実施後の状況	緑丘小学校PTAを主に、安全パトロール隊を結成し、通学時の交差点・通学路に監視員をおくと共に 児童に交通ルールと挨拶の励行を指導している。
事業の効果	ボランティアの人数が増えたことにより、危険箇所での見守りが出来るようになった。また電動自転車の配備により広範囲の巡回が可能となり、教育大学附属小学校との連携も出来るようになった。
今後の課題	地域の団体、有志ボランティアの方々とより一層連携し、無理なく継続できる体制作りが必要である。

平成23年 5月 31日

### 事業の評価書

池田市長 様

協議会名

鉢塚緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名

梶田 良治

印

#### 記

事業の名称	コミュニティ紙発行事業
事業実施前の状況	地域の情報紙としては、各自治会の発行紙だけであった。
事業実施後の状況	緑丘鉢塚両地区の情報紙として、協議会の活動を周知するようになった。
事業の効果	年3回1回約3500~4000部を発行し、地域世帯や小学校に配布した。
今後の課題	内容的には、各自治会間の交流を深める手助けとなる紙面づくりが求められている。ポスティングでは訴求効果が少なく、効果的な配布方法を検討する必要がある。

平成23年 5月 31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名

鉢塚緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名

梶田 良治



記

<p>事業の名称</p>	<p>地域イベント支援事業 ①花菖蒲まつり移動動物園招致 ②緑小イルミネーション</p>
<p>事業実施前の状況</p>	<p>① 前年度継続事業 ② 冬のイルミネーションコンサートとして地域に定着していた。</p>
<p>事業実施後の状況</p>	<p>① 「花菖蒲まつり親と子の集い」の幼児・ファミリー向け催し物として好評である。 ② より一層華やかな電飾となった。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>① 幼児を含め親子で遊びながら、小動物とふれあえる数少ない機会である。 ② 12月恒例のイルミネーションコンサートを華やかに飾った。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>① 無料開放しているのでも将来的にも収益の上がる催し物ではない。 ② 特に無し。</p>

平成 23年 5月 31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名 梶田 良治



### 記

事業の名称	AED3台の維持管理事業(AED パッド交換)
事業実施前の状況	継続事業、AED3台の維持管理
事業実施後の状況	水月児童文化センター・アルビス緑丘集会場・鉢塚会館に各1台を配置。緊急時の対応拠点とする。
事業の効果	水月児童文化センター・アルビス緑丘集会場・鉢塚会館に配置した事で、緊急時への対応措置の拠点が出来た。また、地域イベント等の会場に貸出し緊急時の対応に寄与することが出来た。(花菖蒲まつり・鉢塚盆踊り大会の2回)
今後の課題等	① AEDに関心・知識を持ってもらう ② AEDの配置箇所を増やして行く ③ AEDを活用した救命講習等を実施する

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名

鉢塚緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名

梶田 良治



記

事業の名称	交通安全看板等設置事業
事業実施前の状況	緑丘小学校PTAを中心に、通学路の安全確保を目指し危険箇所を点検し、看板やストップマークの道路標示、飛び出し坊やの設置を要望されていた。
事業実施後の状況	電柱看板(すびーど落とせ) 87枚、ストップマーク 31箇所 飛び出し坊や 26基を設置。
事業の効果	統一した電柱看板により、注意を喚起し、実際車両の運転者からは目に付きやすいとのこと。主に公園出入り口に設置した飛び出し坊やは、子供たちにも好評でる。
今後の課題	通学路の安全を確保するにはより一層の対策を求められるが、駐車違反对策など隣接店舗等の協力や運転者自身の遵守意識の向上も必要である。

平成23年 5月 31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名

鉢塚緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名

梶田 良治



記

事業の名称	昆虫育成講習会実施事業 カブトムシ育成会
事業実施前の状況	前年度よりの継続事業
事業実施後の状況	水月公園でも カブトムシの成虫を発見するようになった。
事業の効果	緑丘小学校児童だけでなく、附属小の児童や幼稚園の園児の参加も増えている。 家族ぐるみでの参加が多くみられる。
今後の課題	50組限定での参加募集であったが、応募者が多いので、運営方法を再考する必要がある。(現在無料講習会であるが、一部参加者負担も考える)

平成23年 5月 31日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名

鉢塚緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名

梶田 良治



## 記

事業の名称	公園整備事業 ① 水月公園 憩いの場ミニステージ設置 ② 鉢塚公園 リフレッシュ改修
事業実施前の状況	①前年度テーブルチェアと芝生の広場を設置した ②コンクリート製滑り台などが老朽化し遊具の利用頻度が低い。
事業実施後の状況	①ミニステージ(ウッドデッキ)と木製倉庫を設置。 ②老朽化した遊具を撤去し、花壇を設置した。
事業の効果	①芝生の広場やテーブルコーナーと一体化したミニコンサートなどが催せるようになった。 ②今年度は撤去工事のみとなりフリースペースとなっているが、子供たちがキャッチボールなどで遊ぶことが多くなった。
今後の課題	①協議会が中心となり、ミニステージを利用した催し物を企画運営していく。(特に地域の団体に提案していく。) ②継続事業として次年度は健康器具や幼児向け遊具を設置し、幅広い年代に利用できる公園を目指す。

平成23年 5月 31日

## 事業の評価書

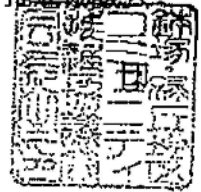
池田市長 様

協議会名

鉢塚緑丘地区コミュニティ推進協議会

代表者名

梶田 良治



記

<p>事業の名称</p>	<p>ふれあい講習会開催事業 ①星座観察会 ②音楽の宝石箱</p>
<p>事業実施前の状況</p>	<p>①昨年度よりの継続開催事業。 ②ボランティアで地元の有志が開催していた音楽祭</p>
<p>事業実施後の状況</p>	<p>①今年度は、新規に大阪市立科学館の協力を得てプラネタリウムの投影会を開催した。 ②音楽祭の1コーナーを協議会が主催した。</p>
<p>事業の効果</p>	<p>①子ども達が熱心に学習し、科学館の指導員も驚くほど星座にたいする習得度が高い。また親と子のふれあいも目的のひとつであるが、父母親の参加も多く、この事業のような「小学校が出来ない課外授業」の必要性が再認識された。 ②プロの音楽家4名によるミニコンサートで、入場者数約140名。参加者全員で歌え音楽に親しむことが出来た。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>①夏は約190名、冬のプラネタリウムでは156名の参加者があった。 ②予想より小中学生の参加者が少なかったため、PTA・学校と連携するなど開催方法に一考を要す。</p>



平成28年5月31日

## 事業の評価書

池田市長様

協議会名 鉢塚・緑丘地区コミュニティ推進協議会  
 代表者名 梶田良治



### 記

事業の名称	ふるさと再発見講座開催事業
事業実施前の状況	1) 池田の歴史について学ぶのは、小学3年生以降の授業の中であるが、実地に現場へ出かける機会は限られている。 2) 緑丘小、附属小と地域の共催イベントは、従来もいくつかあったが、各校の複数の教員がボランティアで積極的に企画段階から参画するものはなかった。
事業実施後の状況	1) 児童の日常会話の中で、「ふるさと池田探検隊」で訪問した場所について語られるようになった。 2) 緑小2名、附属小1名の教員が、企画段階から参画され、実施段階では緑小2名、附属小3名の教員の協力を得た。
事業の効果	1) 児童のふるさと池田に対する愛着度を測ることは難しいが、日常会話の中で池田が語られることは、一定の効果があったと思われる。 2) 空港見学では、定員の5倍の応募があったため、抽選となった。本企画については、多くの関心を集めていることが明らかとなった。
今後の課題等	1) 空港見学は、平日でしか実施できないため、夏休み期間中の事業としているが、学校行事と重ならないよう留意しながら、できるだけ実施回数を増やす必要がある。